

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	PBL	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期	後期	・ 通年	担当教員 藤井 克俊
時間数	前期： 時間 / 後期：106 時間	実務経験：実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、実践的な講義を行う。		
科目の目的と講義内容	スマホアプリの開発環境である monaca を用いて、クロスプラットフォームのアプリケーションを開発する。 チームで題材を決めて HTML5 アワードに出展する。			
目指す検定・資格	なし			
指導方法及び学生に期待すること	座学・演習形式			
その他	特になし			
	後 期			
授業の概要	基礎編 monaca を用いたアプリケーションの開発演習 応用編 ニフクラモバイルバックエンドを用いたアプリの開発演習 実践編 monaca とニフクラを用いた自由題材の開発演習			
到達目標	Monaca を用いて、スマートフォンの API や端末機能を活用したスマホ向けアプリケーションを開発できる。MBassS を活用したアプリ開発ができる。			
成績評価方法	期末試験（40%）、制作物（30%）、プレゼンテーション（20%）授業態度（5%）、出席率（5%）			
テキスト・副読本	アシアル社提供の学習スライド Monaca とニフクラ mobile backend で学ぶはじめてのプログラミング ~クラウド連携アプリ開発編			

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト		学科	2年
科目名	インフラ II	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	岡本 和也	
時間数	前期：67 時間 / 後期：時間	実務経験：SIer において NW、情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かし、学生が NW 構築に関するスキルを習得できる様、講義を行う。		
科目の目的と講義内容	1 年生で学んだ基本情報処理技術者の通信ネットワークの分野は元々学生ではイメージが湧き難いので、今後の国家試験においても就職としても、もっと明確なイメージと興味を持たせることが必要。			
目指す検定・資格	なし			
指導方法及び学生に期待すること	CISCO エミュレータ及び YAMAHA ネットワーク機器実機を用いた演習形式による授業を行う。ルータ、L2SW 等の基本的な設定方法、ルーティング設定、VPN 設定などインフラ技術者としての必須技術を身に付ける。			
その他	なし			
	前 期			
授業の概要	1 年次のインフラ I で習得した知識をスキルとして確立させる。 また、実社会での通信ネットワーク技術の運用技術を学ぶ。			
到達目標	曖昧だったイメージを明確なイメージを持てるようにする。 苦手意識をなくし興味を持ち積極的に学べるようにする。			
成績評価方法	期末試験 60%、実習課題 30%、出席率 5%、授業態度 5%			
テキスト・副読本	テキスト：ネットワーク入門・構築の教科書（マイナビ出版）			

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト		学科	2年
科目名	インフラⅢ	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	岡本 和也	
時間数	前期：時間 / 後期：30 時間	実務経験：SIer においてNW、情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かし、学生がNW構築に関するスキルを習得できる様、講義を行う。		
科目の目的と講義内容	実機及び仮想環境（VMware）を用いて、WEB サーバ、ファイルサーバ等、権限設定など実務に直結するインフラ構築ができるよう、ハンズオン中心の講義を展開する。			
目指す検定・資格	なし			
指導方法及び学生に期待すること	クラウド、オンプレミス問わずサーバ設定、OS 基本設定、セキュリティ設定が行える知識、スキルを身につけることを期待する。			
その他	なし			
	後 期			
授業の概要	1年次のインフラ Iで習得した知識をスキルとして確立させる。 また、実社会でのインフラ構築、運用の知識と技術を学ぶ。			
到達目標	曖昧だったイメージを明確なイメージを持てるようにする。 苦手意識をなくし興味を持ち積極的に学べるようにする。			
成績評価方法	期末試験 60%、実習課題 30%、出席率 5%、授業態度 5%			
テキスト・副読本	オリジナル教材を使用			

令和5年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科 2年		
科目名	キャリアプランニング	科目区分	一般科目・専門科目
開講期	前期・後期・ 通年	担当教員	岡本 和也
時間数	前期：16時間 / 後期：14時間	実務経験：SIerにおいて情報セキュリティソリューションセールス業務に従事。実務経験を活かした講義を行う。	
科目の目的と講義内容	就職活動に向けて、IT業界の最新の動向はもちろん、国内外の様々なビジネスの状況について理解を深める。ニュースメディアとして日経新聞を用いて、情報収集のポイントをはることの重要性を理解する。また、自分自身の強み、弱みと興味関心から志望業界、企業を定める機会となる授業を展開する。		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	国内外の経済状況とトレンドについて触れることで、就職活動に向けて自分自身の教養を高めるきっかけとしてほしい。		
その他			
	通年		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の経済情報、企業動向とトレンドに触れる。 ・興味関心の高い分野について業界、企業分析を実施、発表も行う。 ・自己分析を通じて、学生が自身のキャリアプランを考える機会とする。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・最新のビジネストrendの理解を深め、レポート作成、プレゼンができるようになる。 ・自己PRや業界、特定企業への志望を明確化する 		
成績評価方法	レポート提出・プレゼンテーション（40%）（期末試験：50%）、授業態度（5%）、出席率（5%）		
テキスト・副読本	なし		

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科 2年		
科目名	サーバーサイドⅡ	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	藤浦 理恵
時間数	前期：62時間／ 後期： 時間	実務経験：大手企業で、SEとして長年システム設計業務に従事した経験を活かし、実務に則した指導を行う。	
科目の目的と講義内容	与えられた課題に対して、学生間でチームを組み、いままで培った Java のシステム開発の技術を総動員し、プロジェクト演習を実施する。		
目指す検定・資格	なし		
指導方法及び学生に期待すること	チーム内で相談して制作物を企画し、役割分担して開発を進める。チーム開発における、多人数での開発におけるリーダーシップ、フォロワーシップの発揮、SEとして求められるコンピテンシーを発揮し、各自が主体的に取り組むことを期待する。		
その他			
	後 期		
授業の概要	与えられた課題に対し、システムの企画、基本設計、プログラミングの工程までの一連の工程を実施しシステムを完成させる。成果物のプレゼンテーションを実施しフィードバックを得る。		
到達目標	・システムの完成、プロジェクトにおける成果の確認		
成績評価方法	制作物 50%、プレゼンテーション 20% レポート 20% 授業態度 5%、出席点 5%		
テキスト・副読本	<ul style="list-style-type: none"> ・ Java システム開発技法 JDBC/UML 第 4 版 ・ Java システム開発演習 第 4 版 		

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	サーバーサイドⅢ	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期	後期	通年	担当教員 小池 はるか
時間数	前期： 時間 / 後期：105 時間		実務経験：情報系専門学校を卒業。その後、新人研修や職業訓練校などで、IT 系の講師に従事。実務経験を活かし、講義を行う。	
科目の目的と講義内容	サーブレット及び JSP を用いて WEB システムを構築できるようになる。			
目指す検定・資格				
指導方法及び学生に期待すること	座学と実習を組み合わせた複合的な授業展開。学生には課題の取り組みと他者をフォローしあう。			
その他	特になし			
	後 期			
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ Java による実践的な処理とデータ構造の理解 ・ データベースおよびネットワークプログラミングの理解 			
到達目標	<p>Java の備える各種機能の利用方法や、ネットワークやデータベースを用いた Java プログラムの手法を身につけることを目的とする。</p> <p>また、Java プログラミング能力認定試験 2 級の合格を目指すことで能力を高める。</p>			
成績評価方法	期末試験 90%、出席率 5%、授業態度 5%			
テキスト・副読本	<p>【テキスト】</p> <p>スッキリわかるサーブレット&JSP 入門 (インプレス社)</p>			

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト	学科	2年
科目名	セキュリティ演習	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	藤井 克俊
時間数	前期：43 時間 / 後期：時間	実務経験：システムエンジニアとして業務システムの企画提案、運用、Web システムの開発に従事。現場で培った経験をもとに講義を行う。	
科目の目的と講義内容	セキュリティ技術について基盤となる知識を学習し、実践的な操作ができるようになる。		
目指す検定・資格			
指導方法及び学生に期待すること	座学による知識の習得に加え、演習課題で実践のスキルを磨いていく。 セキュリティ技術に対して積極的に学習し、技術者としての基本スキルを身につけてほしい。		
その他	なし		
	後 期		
授業の概要	企業連携授業を行い、セキュリティの知識と具体的な作業について理解し 検証環境を用いて実際にセキュリティ診断演習を行う。		
到達目標	セキュリティ技術や堅牢化について理解できる 検証環境を用いてセキュリティ診断ができる。		
成績評価方法	期末試験 70%、確認テスト 20%、出席率 5%、授業態度 5%		
テキスト・副読本	安全な WEB アプリケーションの作り方		

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	フロントエンドⅡ	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期	後期	・ 通年	担当教員 若林 潤一
時間数	前期：63 時間	／後期：時間	実務経験：県内システム会社勤務を経て WEB サービス会社の社長 COO として従事した後独立。Web システムの開発、サービス提供の経験をもとに講義を行う。	
科目の目的と講義内容	JavaScript の基本的な文法を習得する。JavaScript を用いて動的なアプリケーションを作成する。			
目指す検定・資格				
指導方法及び学生に期待すること	座学・演習形式			
その他	特になし			
	前 期			
授業の概要	JavaScript の基本文法を学習する。Web サイトに動的なパーツや要素を作成しインタラクティブなサイトを制作する。			
到達目標	JavaScript の文法を用いて、ブラウザの表示を動的に変更するアプリケーションを作成できる。			
成績評価方法	期末試験（70%）、制作物（20%）、授業態度（5%）、出席率（5%）			
テキスト・副読本	プロフェッショナル Web プログラミング JavaScript（エムディエヌコーポレーション）			

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科 2年		
科目名	プレゼンテーション技法	科目区分	一般科目・専門科目
開講期	前期・後期・通年	担当教員	小池 はるか
時間数	前期：30時間 / 後期：時間	実務経験：講師としての経験を活かし、学生がプレゼンテーションに関する技法を習得できる様、講義を行う。	
科目の目的と講義内容	プレゼンテーションと自分自身の関わり、重要性を学生が理解し、就職活動にも役立てられるように、アクティブラーニングを活用し、学生に考える場を多く設ける。		
目指す検定・資格			
指導方法及び学生に期待すること	就職活動における履歴書作成、面接で自分の考えが相手に適切に伝える力を身につけてもらう。		
その他			
	前 期		
授業の概要	プレゼンテーションの重要性を理解し、相手に伝えられる力を身につける。		
到達目標	結論→各論→総論を面接、履歴書の構成で意識して纏められるようになる。		
成績評価方法	プレゼンテーション（50%）、期末試験（20%）、レポート（20%）、授業態度（5%）、出席率（5%）で評価する		
テキスト・副読本	いちばんやさしい資料作成&プレゼンの教本 (株式会社インプレス)		

令和5年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科 2年		
科目名	情報処理技術者Ⅱ	科目区分	一般科目 ・ 専門科目
開講期	前期 ・ 後期 ・ 通年	担当教員	藤井 克俊
時間数	前期：93時間／後期： 時間	実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生がコンピュータに関する基礎的な知識を理解できるように講義する。	
科目の目的と講義内容	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題を中心に総仕上げを行う。		
目指す検定・資格	経済産業省主催 情報処理技術者試験（基本・応用・高度）		
指導方法及び学生に期待すること	過去問題を中心に、一問一問理解を深め、各分野の基礎力を高める。 模擬試験を通して、応用力を確認し合格を目指す。 苦手分野を克服しながら、クラス一丸となって合格を目指す。		
その他	なし		
	前期		
授業の概要	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説も行うが、基本的には学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の實力アップをはかる。		
到達目標	午前問題 60点以上 午後問題 60点以上 合格を目指す。		
成績評価方法	模擬試験結果・本試験結果（95%）出席率（5%）		
テキスト・副読本	過去問題および模擬試験		

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	情報処理技術者Ⅲ	科目区分	一般科目	専門科目
開講期	前期	後期	通年	担当教員 藤井 克俊
時間数	前期： 時間／後期： 86 時間		実務経験：システムエンジニアとしての勤務経験を活かし、学生がコンピュータに関する基礎的な知識を理解できるように講義する。	
科目の目的と講義内容	情報処理技術者試験の取得を目指し、各分野の専門用語の確認、思考問題の強化、過去問題中心に総仕上げを行う。			
目指す検定・資格	経済産業省主催 情報処理技術者試験（基本・応用・高度）			
指導方法及び学生に期待すること	過去問題を中心に、一問一問理解を深め、各分野の基礎力を高める。 模擬試験を通して、応用力を確認し合格を目指す。 苦手分野を克服しながら、クラス一丸となって合格を目指す。			
その他	なし			
	後 期			
授業の概要	午前、午後分野の過去問答練を中心とした授業を行う。教師からの解説も行うが、基本的には学生同士の学び合い、アクティブラーニングを通じて全体の實力アップをはかる。			
到達目標	午前問題 60点以上 午後問題 60点以上 合格を目指す。			
成績評価方法	模擬試験結果・本試験結果（95%）出席率（5%）			
テキスト・副読本	過去問題 模擬試験			

令和 5 年度 シラバス

学科・学年	情報スペシャリスト学科			2年
科目名	開発技術 I	科目区分	一般科目	・ 専門科目
開講期	前期 後期 ・ 通年	担当教員	藤井 克俊	
時間数	前期：52 時間 / 後期：時間	実務経験：システムエンジニアとして業務システムの企画提案、運用、Web システムの開発に従事。現場で培った経験をもとに講義を行う。		
科目の目的と講義内容	システム開発におけるドキュメントの作成方法と、チーム開発における Git の使用方法を学習することで、システム開発に必要な関連技術を習得する。			
目指す検定・資格				
指導方法及び学生に期待すること	インプットは動画による事前予習を行い、授業では演習中心の授業を展開する 事前に必要な知識をインプットして予習することを期待する			
その他	特になし			
	前 期			
授業の概要	システム開発の上流工程に必要なプロジェクト計画書、要件定義書、システム設計書を作成する。製造工程において Git を活用したソース管理を行う。テスト工程に必要なテスト項目書の作成とテスト手法を学習する。			
到達目標	システム開発に必要なドキュメントを作成することができる Git のコマンドを利用して、ソースコードの管理を行うことができる テスト計画書の作成とテストを実施できる			
成績評価方法	期末試験（70%）、制作物（20%）、授業態度（5%）、出席率（5%）			
テキスト・副読本	Udemy 動画：手を動かして学ぶ IT プロジェクトの資料作成！システム開発のドキュメンテーション技術と成果物テンプレート Udemy 動画：Git：もう怖くない Git！チーム開発に必要な Git を完全マスター			